

1 年次（平成21年度） 各支部研修事業計画

	研究組織	○研修の内容及び概要・研究方法	講師・指導者・発表者
新潟	1 新潟 小学校部	<p>○子どもたちにより良い生活習慣を身につけさせるために、各学校や地域の実情に即して進めてきたこれまでの取組の成果を共有し、精選しながら、さらによりよい実践を重ねることで健康教育活動を充実させていく。その中で、「養護教諭の専門性」「組織的な健康教育活動」について考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班部会を構成し、班別研修を行う。 ・P（課題解決のための計画）D（実践）C（評価）A（改善）サイクルを意識した研修を行う。 ・研究主題に迫るための手段・手法として「保健室経営の重点活動表」を柔軟に取り入れ活用し、より効果的に健康教育を推進していく。 重点活動表作成にあたっては、自校の健康課題を明らかにし、コーディネーターとして組織的に健康教育活動が推進するよう考慮する。 ・各班の成果を部員全員が共有するために、研究集録を作成し、部内報告会を行う。 ・講師を招き、全体研修会を行う。 	<p>実践発表：新潟市立赤塚小学校 豊木 由美子 「家庭・地域と連携して進める歯科保健教育」</p> <p>指導者：新潟市教育委員会 指導主事 塚原 加寿子</p> <p>（新潟市養護教員会主催講演会）</p> <p>講師：千葉大学教授 岡田 可奈子 「これからの時代に求められる養護教諭の役割」</p>
	1 新潟 中学校部	<p>○生徒の実践力を高めるための「性教育」を保健学習の中で展開、実践していく。</p> <p>○保健学習を行うにあたり、養護教諭はコーディネーターとしての役割を担い、組織的な運営や活発な教育活動を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究組織班は、研究テーマに沿って主題を1つ決め、教育活動を実践する。 ・授業の指導案を班員全員で1つ作成し、各班1名が授業公開をする。 <ol style="list-style-type: none"> ①各研究組織班は、地区の実情を考慮して研究主題を設定する。 ②指導案や資料の作成に取り組み授業を実践する。 ③授業の評価を行い、改善点を見つける。 ④研究経過をまとめ、成果の共有化を図る。 ⑤講師を招いて研修会を開催し、授業力の向上を目指す。 ⑥保健室重点活動表を作成し、組織的な健康教育活動を実践する。 	<p>講師：小須戸中学校 校長 若月 弘久 「組織的な健康教育活動とは」</p> <p>実践発表：上越市立大潟町中学校 養護教諭 若井 道子 「コーディネーターとしての養護教諭」</p> <p>講師：群馬大学医学部 佐光 恵子 「生徒の実践力を高める授業とは」</p>
	2 佐渡	<p>○各学校の健康課題や子どもの成長への願いを明確にし、保健室重点活動を作成する。</p> <p>○養護教諭はコーディネーターとしての役割を意識しながら、組織的な運営や健康教育活動を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自校の健康課題に基づいた保健室重点活動表を作成する。 ・研究部からのアンケートに回答する。 	<p>講師：新潟県立教育センター指導主事 長谷川 由佳 「健康教育活動を活性化させる要因と実践研究（研究論文）の書き方」</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ①保健室重点活動表の達成状況を反省・評価し改善案を作成する。 ②研究経過をまとめ二年次へ引き継ぐ。 ③会員間で情報交換し、成果の共有化を図る。 ④研修会を開催する。 	
下越	3 新発田	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が自校の健康課題と子どもの成長への願いや健康課題解決の取組を重点活動表に記入して実践する。 ・講師を招き、「養護教諭が行う研究」について、実践報告と研究論文の違い。具体的な進め方などについて学ぶ。 ・各自の実践について、情報交換する。 	<p>講師：新潟県立教育センター指導主事 長谷川 由佳</p> <p>「養護教諭が行う研究」</p>
	4 村上・岩船	<ul style="list-style-type: none"> ・重点活動表を取り入れた一人一実践をする。 ・一人一実践したもの（重点活動表、資料）を集約し、冊子などで共有化する。 ・講師を招き、全体研修会を行う。 (小学校) <ul style="list-style-type: none"> ・実践をどのように論文形式にまとめるか、講師の実践発表を聞き研修する。 ・課題別グループ研修を行う。 (中学校) <ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭が行う実践研究の進め方とまとめ方について指導者を招いて研修する。 	<p>【小学校部】</p> <p>講師：新発田市立紫雲寺小学校 養護教諭 脇川 恭子</p> <p>「養護教諭が行う実践研究の進め方とまとめ方について」</p> <p>【中学校部】</p> <p>指導者：下越教育事務所 指導主事 井出 千恵子</p> <p>「健康教育活動をより活性化するために、養護教諭として行う組織的な運営活動のあり方について」</p> <p>指導者：未定</p> <p>「養護教諭が行う実践研究の進め方とまとめ方について」</p>
	5 五泉	<ul style="list-style-type: none"> ・健康課題ごとの小グループを編成し、コーディネーターとしての役割に焦点をあて情報交換する。 ・保健室経営の重点活動表を作成する。 ・重点活動表から、進捗状況について情報交換する。 (運営活動や有効だった健康教育活動) ・1年間のまとめ（評価）をし、課題を明確にして次年度につなげる。 ・講師を招き研修する。 	<p>講師：新潟県立教育センター指導主事 長谷川 由佳</p> <p>「研究の進め方（研究論文の書き方を含め）」</p>
	6 胎内・聖籠	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室経営の重点活動表を各自で作成する。 ・保健室重点活動表の達成状況を反省・評価し改善案を作成する。 ・講師を招いての研修会を行う。 	<p>講師：新潟県立教育センター指導主事 長谷川 由佳</p> <p>「内容は調整中」</p>
	7 阿賀野	<ul style="list-style-type: none"> ・全会員がキーワードを受けて、運営活動を中心とした保健室経営の重点活動表を作成する。 ・講師を招いて研修会を行う。 ・キーワードに着目した保健室経営の重点活動表の実践状況についてグループ討議する。 ・5年経験者研修修了者からの伝達講習会を行う。 ・実践報告会を行う。 	<p>講師：阿賀野市立保田小学校 校長 須原 修</p> <p>「(仮) 自校の健康課題と課題解決への取組みを『研究』につなげるには」</p>
8 阿賀	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室の重点活動表を各自で作成する。 ・保健室の重点活動表作成上の情報交換をする。 ・実践研究の理解を深める資料ファイルの配布と日常の健康教育に活用できる指導教材教具を作成 	<p>講師：阿賀町立三郷小学校 校長 島岡 浩二</p> <p>「(仮) 養護教諭の実践研究の在り方とまとめ方」</p>	

		<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先行研究の読み合わせをする。 ・会員の実践集録集を作成し、発表会を行う。 	<p>指導者：下越教育事務所 指導主事 井出 千恵子 「研究のまとめと実践発表会」</p>
中越	9 燕・弥彦	<ul style="list-style-type: none"> ・研究のキーワード（コーディネーター・組織的な健康教育活動）の内容を広い視点から研修する。 ・質的評価基準の書き方について研修する。 ・保健室経営の重点活動表を持ちより、グループ別に研修する。 ・実践集を作成する。 	<p>指導者：新潟大学工学部 教授 林 豊彦 「コラボレーションによる組織的なアプローチを成功させるには」 指導者：中越教育事務所 指導主事 村山 真理子</p>
	10 加茂・田上	<p>○「保健室経営の重点活動表」を活用し、運営活動を重点に計画・実践し、健康教育を活性化させる要因を探る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自校の健康課題と子どもの成長への願いを明確にし、「保健室経営の重点活動表」を作成する。 ・健康課題解決のために、「保健室経営の重点活動表」を活用して、養護教諭がコーディネーターとしての役割を意識した運営活動を展開する。 ・グループ別及び全体研修を行う。 ・中間達成状況を報告し、意見交換を行う。 ・組織的に運営できた要因や運営できなかった要因について考察する。 	<p>講師：新潟県立教育センター指導主事 長谷川 由佳 「質的評価とコーディネーターとしての役割について」 「今年度の実践の反省・評価と次年度の計画立案の仕方について」</p>
	11 三条	<p>○「養護教諭の児童・生徒への願い」や運営活動に「コーディネーターとしての視点」を「保健室経営の重点活動表」に加え、健康教育を活性化させるための要因を踏まえ、実践する。</p> <p>○自校の健康課題解決のため、組織的に健康教育活動を推進していくための方策や考え方を研修し、会員相互の情報共有化を図る。</p> <p>○自校の健康課題解決のための計画に基づいた実践を行い、評価・改善をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保健室経営の重点活動表」を活用し、計画的に実践を進め、自己研修に努め、実践をまとめる。 ・自校の健康課題解決のため、組織的に健康教育活動を推進していくための方策や考え方を深めるための研修を計画的に設定し、会員相互の情報共有化を図る。 	<p>講師：新潟県立教育センター指導主事 長谷川 由佳 「研究推進の方向性について」 実践発表：長岡市立日越小学校 養護教諭 篠田 美雪 (12年経験者研修修了者) 指導者：中越教育事務所 指導主事 村山 真理子</p>
	12 見附	<p>○研究主題に基づき、組織における養護教諭のコーディネーターとしての役割や重点活動表の活用について研修を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点活動表の作成と重点活動表に基づく実践・評価・反省 ・講師を招き、研修会を行う。 	<p>講師：中越教育事務所 指導主事 村山 真里子 「学校保健安全法の施行に伴い、養護教諭に求められるコーディネーター的役割の理解」 講師：見附市立見附養護学校 教諭 宇賀田 真理 「特別支援を要する児童生徒の理解と対応の仕方について」</p>
	13 長岡・三島	<p>○中学校地区別グループ研修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自校の健康課題についての情報交換。 ・健康課題解決のための取組。 ・健康課題を解決するにあたって、困っていること 	<p>講師：新潟県立教育センター指導主事 長谷川 由佳 「養護教諭が行う研究の考え方・進め方(仮)」</p>

	<p>や他校へのアドバイス。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康課題別グループ研修 <ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭としての資質向上のための研修。 ・「保健室経営の重点活動表」を共有した情報交換。 ・教材研究、評価について等。 ○合同グループ研修会を開催する。 ○研修内容を共有する。 <ul style="list-style-type: none"> ・各グループの活動及び個人研究を、機関誌「陽日」に掲載し、報告する。 ・全体研修会で、グループの研修内容を伝達する。 ・研究推進だよりを発行する。 	
14 十日町	<ul style="list-style-type: none"> ○「保健室経営の重点活動表」を作成し実行する過程で、多様な評価の方法を学び、コーディネーターとしての役割を意識した運営活動を展開することにより、健康教育活動をより活性化する要因を探っていく。 ・自校の健康課題や子どもの成長への願いから運営活動に重点を置いた「保健室経営の重点活動表」を作成する。 ・評価方法や評価基準（特に質的評価基準）に今一度目を向ける。 ・健康教育活動を活性化するためのコーディネーターとしての役割を共有し、「保健室経営の重点活動表」と実践を支部で冊子にまとめる。 	<p>講師：長岡市立越路小学校 校長 大谷 実</p> <p>「学校評価システムを活用した健康教育の推進」</p>
15 小千谷	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の健康課題解決に向けて、重点活動表を作成する。（特に運営活動を充実させるよう計画する。） ・各校で「保健室経営の重点活動表」の評価・改善を行い、実践を積み重ねる。 ・「実践のまとめ」を作成し、報告会を通して効果的な取組を探る。 ・「論文」に関する基礎的事項についての学習会を行う。 ・「保健室相談活動」に関する学習会を行い、指導力の向上を目指す。 	<p>講師：新潟県立教育センター指導主事 長谷川 由佳</p> <p>「論文作成の基礎的事項に関する研修」</p> <p>実践発表：小千谷市立小千谷中学校 養護教諭 福原 咲子</p> <p>「心の健康 ～組織で取り組む～」</p>
16 魚沼・川口	<ul style="list-style-type: none"> ○「保健室経営の重点活動表」を活用し、組織的な健康教育活動を推進する。 ・「保健室経営の重点活動表」を作成し、評価・改善を繰り返し、実践を重ねる。 ・グループで「保健室経営の重点活動表」を検討し、情報交換や各自の具体的な実践について研修を深め、自校の課題解決に生かす。 ・講師を招き研修会を開催し、資質向上を目指す。 ・実践集録作成や実践発表を行い、共有化を図る。 	<p>研究発表：新発田市立紫雲寺小学校 養護教諭 脇川 恭子</p> <p>「望ましい生活習慣を主体的に確立していく児童の育成をめざして」</p> <p>食に関する指導の授業参観 魚沼市立広神東小学校</p>
17 南魚沼	<ul style="list-style-type: none"> ・全会員が保健室経営の重点活動表を作成する。 ・講師を招き、研修会を行う。 ・重点活動表を持ち寄りグループで検討する。 ・研修会で学んだことや他校の実践を参考にし、重点活動表を再検討・修正する。 	<p>講師：上越市立安塚中学校 教頭 久保田 智恵美</p> <p>「養護教諭に期待するコーディネーターとしての役割～組織的な健康教育活動をより活性化させるため」</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・研究のねらいにせまる実践を行った会員を選出し、実践発表を行う。 ・重点活動表と、運営活動にかかわる資料で実践集を作成し、養護教諭がどのように組織の中で動いているかの資料を集める。 	<p>には～」</p> <p>講師：女子栄養大学 教授 三木 とみ子 (講演内容については未定)</p>
	18 柏崎・刈羽	<ul style="list-style-type: none"> ・自校の健康課題の見直し ・「保健室経営の重点活動表」の作成 ・テーマ別研修「自校の健康課題に沿った健康教育活動を深めるための研修」 ・テーマ別研修の報告 ・研究論文の書き方、評価基準についての研修 	
上越	19 上越	<p>○自校の健康課題や子どもの成長への願いをより明確にした「保健室経営の重点活動表」活用し、組織的な健康教育活動の中でどのようにコーディネーターとしての役割を担ったかを探る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健室経営の重点活動表を作成し、コーディネーターとしての役割を意識しながら、健康教育活動を推進する。 ・健康課題別グループで「養護教諭のコーディネーターとしての役割」や「組織的な健康教育」について各自の具体的実践を協議する。 ・講師を招き、日々の実践の効果を検証する方法について研修する。 ・コーディネーターとしてどのような役割を担ったかについて考察した「保健室経営の重点活動表」を冊子としてまとめる。 	<p>講師：新潟県立教育センター指導主事 長谷川 由佳</p> <p>「日々の実践をより説得力のあるものにするために」</p>
	20 妙高	<ul style="list-style-type: none"> ・自校の重点健康課題の見つけ方について、講師を招き、研修会を通して明らかにする。 ・子どもの成長への願いを込めた「組織的な健康教育活動」「養護教諭のコーディネーターとしての役割」を意識した保健室経営の重点活動表を作成し、健康教育活動を推進する。 ・グループで保健室経営の重点活動表を読み合わせ、「コーディネーターとしての役割」について協議し、各自の評価・改善を見直す。 	<p>講師：新潟市立小須戸中学校 校長 若月 弘久</p> <p>「自校の健康課題の見つけ方」の講義と演習</p>
	21 糸魚川	<ul style="list-style-type: none"> ・自校の健康課題を明確化し、養護教諭の思いや願いを生かした保健室経営の重点活動表を作成する。 ・質的評価、組織的な健康教育活動に関する研修を行う。 ・保健室経営の活動表を持ちより、成果や課題について共有化を図る。 ・保健室経営の重点活動表に基づき、子どもの変容から成果と課題を確認する。またどのような組織でコーディネーターとしての役割をどう果たしたのかを評価・考察し、実践をまとめる。グループ協議を行う。 ・講師を招き、研修会を行う。 	<p>講師：新潟県立教育センター指導主事 長谷川 由佳</p> <p>「質的評価とコーディネーターの役割について」</p>